

● 指導計画

(1) 加alam・マヅ Mトを取り入れた道徳科授業（抜粋）

	教材名	関連する教科等	活用した教材・内容説明	授業者（T1：教科担当）より
1 学年	私は掃除のプロになる	総合的な学習の時間 キャリア教育	事前アンケート集計「何のために働くか」を示し、キャリア教育「働く」ことにも関連させる。	「心のもった仕事」と総合的な学習の時間で学んだ地域の方の「働く思い」とを関連付けることができた。
	富士山から変えていく	社会	野口さんの歩みの年表で時間を要した継続活動。世界遺産検定資格者（社会科教諭）説話。	世界遺産認定までの経過を、資格者が説明し、深まりと広がりをもたせることができた。
2 学年	海と空-樺野の人々-	英語	シンボルマーク(日本とトルコの旗)を象徴的に表した後、時代背景を説明し興味づけを行う。歴史上のできごと。	気持ちから「エコー効果」が生まれる、ということを通じた感じとらせることができた。
	美しい鳥取砂丘	社会	指導者が実際に行った現地の写真や、授業中の記述内容を即大型 TV に拡大映像として提示し、関心を高めた。	調和と規律を保つための「法や決まりを守る」という点で、社会科と関連付けた。
3 学年	臓器ドナー	保健体育	臓器移植医療を「ワープ」以外説明・臓器移植 DVD 視聴。保健と関連させ臓器移植・脳死に係る知識の共有化を図る。	現代的な課題（臓器提供）から自他の生命について、自分事として考えさせることができた。
	父は能楽師	音楽	能、狂言、雅楽の説明、優れた伝統文化「土蜘蛛」の動画を実際に視聴させる。終末で地元「大和子供神楽」の視聴。	教科横断的な視点をもたせることができ、各教科で関連付けるように話し合った。
	独りを慎む	国語	向田邦子「字のない葉書」既習（1 年国語）教材の厳格な父親像を想起して展開。	生徒にとってなじみやすく、筆者が教材で述べていることも理解しやすかった。

(2) 道徳科学習指導案

- 学年 第3 学年
- 主題名 夢の実現【A-（5）真理の探究，創造】
- ねらい よりよく生きるために，真実を大切にし，真理を探究して新しいものを生み出そうとする実践意欲を育てる。
- 教材名 「iPS 細胞で難病を治したい」

	学習活動	主な発問と予想される児童生徒の心の動き (◎中心発問)	指導上の留意点 (☆評価の観点)
導入	1 ヒト iPS 細胞について知る。	○iPS 細胞について，知っていることを出し合おう。(T1)	・理科教諭が iPS 細胞の映像説明。(T1) ○iPS 細胞のもつ価値の大きさを生徒に少しでも伝えておくことで，教材への関心を高めるように工夫する。
展開	2 教材「iPS 細胞で難病を治したい」を読み，考える。		臨床医→1 対 1 で助ける。 iPS 細胞→多数を助ける。
	3 山中さんは二度の挫折で何を感じていたか考える。	○二度の大きな挫折を経験し，山中さんはどんな気持ちだっただろう。(T1) ・もうやめたい。 ・もう一度，別の新しい勉強をやり直そう。 ・大学院に入り直して新たに勉強しよう。	○山中さんの現在の活躍には，二度の挫折が大きく影響しているため，この挫折で何を感じたのかをあらかじめ考えさせておく。
	4 二度の挫折を乗り越えて作成に成功した力について考える。	○iPS 細胞の作成に成功したのは，何がきっかけだっただろう。(T1) ・アメリカの上司からビジョン&ワークハードを聞いていたから ・ひょんなことから。	○成功のきっかけに二度の挫折があり，それらを乗り越える力として真理の探究があることについても触れる。
展開	5 ノーベル賞を受賞してもなお，研究を続ける山中さんのモチベーションの根幹を考える。	◎山中さんが夢の実現に向けて走り続けているのは，どうしてだろう。(T1) ・あきらめずに希望をもって待っている難病で苦しんでいる患者さんがいるから。 ・より多くの人を助けたいと思う気持ちから。 ・ここまで研究を頑張ってきたのだから。 ・成功=完成ではないから。	○問い返し「iPS 細胞の発見を『成功』とするなら，『完成』となるものは何だろうか。」と問う。(T2)山中さんが中学校二年生頃から継続してもつモチベーションの根幹となるものとリンクさせる。 ☆幾度も挫折を乗り越えながら研究を進めている山中さんのモチベーションの核となるものを話し合い，考えることができたか。(ノート)
	6 山中さんの生き方に学ぶ。	○新しいものを生み出すときに大切な心とはなんだろう。(T1) ・自分が誰かの力になりたいという思い。 ・明確な目標，ビジョンをもつこと。	
終末	7 本時の学習を振り返る。	○教師の説話を聞く。(T1) コラム「私の生き方」や「新しいものを生み出した先人たち」を紹介する。(T1)	☆よりよく生きたいという願いや，新しいものを創造していくことへの意欲を示す発言や記述が見られたか。(ノート)